



党都本部大会の後に開かれた議員総会であいさつする
山口代表=22日 公明会館

安心届ける政策を実現

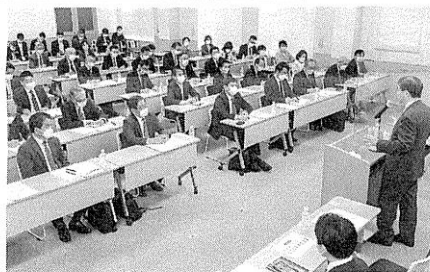
統一選見据え 団結第一で前進

党都本部の会合で山口代表

公明党の山口那津男代表は22日午前、東京都新宿区の公明会館で開かれた党東京都本部大会・議員総会であいさつし、「国民のニーズに応え、安心を提供できる政治を実現できるのは、大衆に直結

し、ネットワークによる政策実現力を持った公明党しかない。統一外地方選挙、来年の統一地方選挙の全員当選をめざし、団結第一にきょうから前進しよう」と訴えた。山口代表は、取り組む

べき政治課題として「社会保障制度を、どう少子高齢化の時代に合わせていくかが課題だ」と指摘。中でも、全世代型社会保障の柱の一つである子育て支援を「社会の先々を見て、恒久的な施策として整えていく視点が重要だ」と語った。その上で、手薄となつ

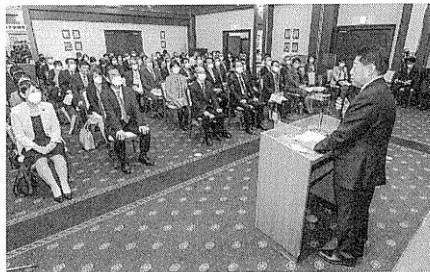


党千葉県本部大会であいさつする
石井啓一幹事長=22日 千葉市

ている妊娠・出産期や0〜2歳児への支援を拡充する必要性を力説。「子

どもの成長過程に応じた、いろいろな悩み事に対応して、いろいろな悩みの相談を受けることが大切

き、実際に何かが必要ならば、支援措置と結び付けられることが大切



党奈良県本部大会であいさつする
北側一雄副代表=22日 奈良市

だ」と述べ、伴走型の相談支援とともに、出産・育児用品や家事・育児サービスなどの提供などの経済的支援を「自治体が一体的に実施できる事業を公明党は提案し、実現していく」と強調した。党都本部大会で都代表に再任された高木陽介衆院議員は「立憲精神を胸に、統一地方選の完勝へ自らが先頭に立つて全身全霊で闘い抜く」と決意を表明した。この日は、党千葉、奈良両県本部大会も開かれた。記事は2面